

# 信州大学ライフイノベーション推進事業展開の流れ



## 医学部・医学部附属病院を中心とした 企業技術シーズとのマッチング支援

信州大学内に、医工連携コーディネーター人材を充実させ、医療現場からの機器や器具の開発ニーズを、工業系企業の技術シーズとマッチングさせる「医工連携活動」が進む。写真は睡眠時無呼吸症候群検査装置。



JST地域産学官共同研究拠点整備事業  
(平成21年度)

## 信州メディカルシーズ育成拠点採択

長野県経営者協会・長野県・信州大学により26種類の医学的解析機器を整備、平成22年3月開設。

## 信州メディカルシーズ育成拠点 機器説明会と共用化開始

平成23年6月、計47種類の機器の共用化を開始。写真は機器説明会風景。企業や公設試験場等から約120名が参加。



文部科学省 運営費交付金特別経費  
(プロジェクト分) (平成23~27年度)

## 信州メディカルシーズ研究 開発促進プロジェクト採択

信州大学で医療系を専門とするリサーチ・アドミニストレータ等を雇用。



## 信州メディカル産業振興会設立

信州メディカルシーズ育成拠点との密接な連携によって、メディカル関連製品の創出に必要な総合的支援を受け、長野県のメディカル産業の振興に広く貢献する。会員数約130(企業・個人)

## 浜松医工連携クラスターとの連携

同じくJST地域産学官共同研究拠点整備事業を受けた浜松医大等と平成23年8月「信州・浜松拠点間交流キックオフ会議」を開催。この後もセミナー・講演会等で積極的に交流を図る。



経済産業省 課題解決型医療機器の開発・改良に向けた病院・企業間の連携支援事業

## 「界面制御CNTコンポジット素材を用いた 高機能人工関節の開発」など3件採択

上記の他、小型・軽量次世代型人工心臓システム・センサー付手術デバイスとトレーニングシステム。



## 医療現場見学会の実施

メディカル産業振興会開催。医療従事者から生の声を聞く。参加企業毎に大学の医工連携コーディネータが付き、以後の共同研究から実用化までをフォロー。



文部科学省、経済産業省、農林水産省(平成23~32年度)

## 「地域イノベーション戦略推進地域 (国際競争力強化地域)」選定

長野県経営者協会、信州大学、長野県、八十二銀行、長野県テクノ財団

## 平成23年8月採択

文部科学省(平成23~27年度)

## 「地域イノベーション 戦略支援プログラム」採択

長野県経営者協会、信州大学、長野県、八十二銀行、長野県テクノ財団医工連携人材やコーディネータを育成。



## 長野県テクノ財団 メディカル産業支援センター を設置

長野県テクノ財団が平成23年10月、松本合同庁舎内に「メディカル産業支援センター」を設置、信州大学等との連携により新規メディカル関連製品の上市を加速。



## 長野県地域イノベーション キックオフイベント開催

平成23年10月松本にて約160名の関係者・企業が参加し盛大に開催された。

経済産業省「技術の橋渡し」拠点整備事業  
(平成23年度)

## 「信州地域技術メディカル 展開センター」採択

信州大学松本キャンパスに平成24年秋、延床面積2,564㎡の医工連携研究棟を建設。



## ドイツデュッセルドルフ MEDICA2011出展

世界最大規模の医療機器展示会に信州メディカル産業振興会として出展海外企業との連携を目指す



平成24年度以降は医療機器等の新規研究開発に係る、ソフト・ハード両面での支援体制を充実させ、多数の共同研究開発プロジェクトを推進、同時に医療機器等の研究開発を積極的に進めることができる研究者、医療従事者、コーディネータ等の多様な人材の育成を図る。